

D. 詳細結果

② 等級3には必要+壁量の検討結果です。X方向については、地震力も図の方が厳しい...

1) 鉛直構面の詳細結果

鉛直構面 (軸組) 仕様		鉛直構面の検討		地震		風	
耐力壁	片方向筋かい(45×90)	X	3階	通り	検定値	通り	検定値
	たすき掛筋かい(45×90)		2階	-	-	-	-
	構造用合板 特類7.5mm以上(面材張り大壁)		1階	Y0	0.67	Y0	0.72
	構造用合板 特類7.5mm以上		Y0	0.79	Y0	0.81	
準耐力壁		Y	3階	-	-	-	-
			2階	X1	0.69	X1	0.25
			1階	X0	0.87	X0	0.37

①

令46条の検討	X方向 (cm)		Y方向 (cm)	
	必要壁量	存在壁量	必要壁量	存在壁量
3階	-	-	-	-
2階	1909.50	3776.50	869.55	3685.50
1階	3354.00	5414.50	2089.45	5281.00

検定値

必要壁量 / 存在壁量

X方向 Y方向
2階 0.51 0.24
1階 0.62 0.39

全1.0未満なのでOK!!

2) 水平構面の詳細結果

水平構面 (床組) 仕様		水平構面の検討		地震		風	
屋根構面	構造用合板(勾配30度以下)	X	3階	区間	検定値	区間	検定値
床構面	構造用合板(根太なし 7.84kN/m) (24mm)		2階	Y9-Y13	0.52	Y9-Y13	0.69
			1階	Y11-Y13	0.31	Y11-Y13	0.29
火打構面	火打金物・木製火打	Y	3階	-	-	-	-
			2階	X1-X4	0.85	X1-X4	0.35
			1階	X0-X1	0.26	X0-X1	0.11

③

3) 偏心率 (≦0.3を確認!!)

	X方向	Y方向
3階	-	-
2階	0.038	0.124
1階	0.017	0.082

OK!!

4) 接合部の検討結果

QL:長期せん断 QS:短期せん断 T:短期引張

柱端部 [標準計算法]			梁端部 [標準計算法]			垂木-軒桁・母屋、母屋一束		
柱端部仕様	検討項目	検定値	梁端部仕様	検討項目	検定値	垂木・母屋	検討項目	検定値
リブコーナ合板タイプ	T	0.98	蟻仕口	QL	0.39			-
スリムベ-10合板タイプ	T	0.91	胴差仕口	QL	0.63			-
ビスどめホルダウU15	T	0.88	蟻仕口	QS	0.31			-
ビスどめホルダウU15 [基礎]	T	0.94	胴差仕口	QS	0.76			
ビスどめホルダウU20	T	0.90						
ビスどめホルダウU20 [基礎]	T	0.92						
ビスどめホルダウU25 [基礎]	T	0.78						

④ ↑ 水平構面の柱端部では引張り金物は不要の結果!